

▶教育随想

君の名は。

長期研修生 辰 崎 圭

「初めまして、私の名前は辰崎 圭（たつざき けい）です。」

東雲小学校での研修が始まり、体育館で最初に子どもたちへ伝えた言葉がこれでした。体育館から教室への帰り道、「辰崎圭先生！もう名前まで覚えたよ！」という子どもたちの明るい声。名前を呼ばれることで緊張がほぐれ、顔がほころんでいく自分がいました。

東雲小学校にはありませんが、これまで勤めた学校では年度初め「家庭訪問」を行います。その際、保護者の方と話をすることで、私は必ず子どもの名前の由来を聞くことにしています。これまで、どのように子どもと関わり、どのような思いをもって、今日まで育ててこられたか、その一端を垣間見ることができるからです。子どもの名前の由来を話してくださいるとき、保護者の方は、とても穏やかな表情になります。

そのような姿をたくさんみていると、私はいつしか、保護者の方が子どもの名前に込めた思いを、授業を通して子どもたちに伝えたいと考えるようになりました。子どもたちは、日々体も心も大きく成長していきます。その都度、今まで一人ではできなかったことが、できるようになっていきます。しかし、決して自分一人で大きくなったわけではありません。家族や周りの人々による多くの支えがあったからこそ、今の子どもたちがあるのです。

☺ 知 賢 儀

す。して

の夢傳憐文橋翠 * 弁土伴蘊二

日々 § 皇ゾ遵朕遵土 8 皇置翠弁土伴瓜輩撒イ

く醇(三)置メ村 傳曼翠 簪 傳イ蛭軟編」梶柙 篙U威 墨V匡芫 奄具 産詰愴蝓荫鎌 屬良蝓罽寧臣